

一般社団法人日本体力医学会評議員申請要項

評議員に申請をされたい方は申請書類を評議員会開催2ヶ月前までにご提出下さい。

I. 申請資格について

下記、**評議員選考内規**をご参照下さい。

◎日本体力医学会評議員選考委員会評議員選考内規

昭和62年10月7日改定
平成6年11月18日改定
平成24年7月20日改定

1. 評議員候補者は、7年以上継続した正会員歴を有していなければならない。
2. 評議員候補者は、7年以上の研究歴を有し、体力医学、運動生理学、スポーツ医学などに関する十分な研究業績の著書、原著論文などの業績発表を有していなければならない。
3. 評議員候補者は、評議員3名の推薦をうけて、入会年月日を明記した履歴書および業績目録を添えて、評議員会開催2カ月前迄に評議員選考委員会に申請しなければならない。
4. 日本体力医学会の学会運営に必要と認められるものは、必ずしも上記条件を満たしていなくとも評議員選考委員会の議を経て、その推薦により評議員候補者となることができる。
5. 評議員選考委員会は、推薦された評議員候補者を審議し、評議員の資格を有すると認められたものを、理事会へ報告し、評議員会に推薦する。

付 則

1. 体力医学に関係する領域の研究で博士の学位を取得している場合には別途考慮する。
2. 日本体力医学会より授与された日本体力医学会健康科学アドバイザーの称号を有する場合には別途考慮する。
3. 研究業績については、原則として、体力医学に関係する原著論文が5編以上あることを基準として、評議員選考委員会で審議する。
4. 申請書類の送付先は 学会支援機構内 一般社団法人日本体力医学会評議員選考委員会とする。

II. 申請手続きについて

下記書類をHPの評議員申請(<http://www.jspfsm.umin.ne.jp/councilor/index.htm>)からダウンロードの上、ご記入・ご提出下さい。

- 1) 評議員推薦書（評議員3名の署名・捺印が必要です）
- 2) 履歴書
- 3) 研究業績

III. 承認までの流れについて

- ① 評議員会開催2ヶ月前（7月中旬頃）までに申請書類を提出いただく。
- ② 提出期間満了後に評議員選考委員会で確認・選考を行う。
- ③ 9月理事会および評議員会総会において報告・承認を行う。

■申請書提出先

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 ユニゾ小石川アーバンビル4階
学会支援機構内

一般社団法人日本体力医学会評議員選考委員会

Tel : 03-5981-6015 (学会専用) Fax : 03-5981-6012 (学会支援機構)

E-mail : jspfsm@asas.or.jp

評議員選考委員長 大野 誠

一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2015年11月）議事録

日時：2015年11月20日（金）午後5時30分～7時15分

場所：AP東京八重洲通り 11F Mルーム

議長：鈴木政登理事長

出席者：鈴木政登理事長、

西平賀昭、永富良一両副理事長、

碓井外幸常務理事、

大野 誠、小野寺昇、甲斐裕子、勝村俊仁、

栗原 敏、後藤勝正、須田和裕、武政 徹、

竹森 重、田中喜代次、内藤久士、

成田和穂、西牟田守、浜岡隆文、宮地元彦、

山内秀樹各理事、

清田 寛、小林康孝各監事、

田島文博（第70回大会長・和歌山）、

立身政信（第71回大会長・岩手）、

尾形直則（第72回大会長代理・愛媛）

欠席者：川原 貴、坂本静男、下光輝一、田畑 泉、

能勢 博各理事、井上 茂、定本朋子各監事

【審議事項】

1. 前回議事録の承認

理事会開催中に各自で議事要旨の内容確認を行い、訂正等がある場合は申し出ていただくこととし、理事会終了後に承認とすることとした。

2. 日本体力医学会健康科学アドバイザー新規申請者について（碓井称号委員長）

日本体力医学会健康科学アドバイザーの新規申請者6名の氏名リストが提示され、承認された。

3. 今後の国際会議における共同主催について（鈴木理事長）

1) 第9回アジア・オセアニア生理学会連合大会（9th FAOPS）の連携開催について

配布資料に基づき、9th FAOPSの説明がなされ、審議の結果、共同参加（共同参加の形態については別途検討）することが承認され、永富渉外委員長が体力医学会の窓口となり進めていくこととなった。

2) 平成30（2018）年度開催国際会議における共同主催の募集について

前回理事会で田畑理事より提案のあった日本学術会議の共同主催の募集について、前項1)にウエイトを置いて進めることが承認された。本学会が会員として加盟している日本スポーツ体育健康科学学術連合が募集に応募する場合、体力医学会は1会員として参加するが、第9回アジア・オセアニア生理学会連合大会（9th FAOPS）の連携開催にウエイトを置くことで了承された。

4. 学術刊行物小委員会設置について（永富委員長）

配布資料に基づき、学術刊行物発行の目的と委員構成について説明がなされ、以下の委員が承認された。今年中に大枠を決めるスケジュール感で進めていくこととなった。

学術刊行物小委員会委員（敬称略、順不同）

委員長：永富良一、委員：鈴木政登、田中喜代次、内藤久士、田島文博、碓井外幸、武政 徹

5. オンライン名簿について

鈴木理事長より、「前期理事会における将来構想委員会で検討してきたオンライン名簿について、委員会引継ぎの際に新委員長と認識の相違があり、新将来構想委員会委員長よりオンライン名簿については引き受けられないという回答があった」との報告があった。その報告を受けて、名簿発行のスケジュールも遅れてしまうため、総務委員会を中心としてオンライン名簿作成を進めたいとの提案があり、承認された。

武政総務委員長より、配布資料に基づき、11月13日に学会支援機構にてオンライン名簿について実際の画面等を確認してきたとの報告がなされ、詳細について説明がなされた。様々な議論がなされ、定款にも名簿発行が記載されており、まずは発行する方向でかつ費用面を抑えて会員にとって活用しやすい方法を目指すためにオンライン名簿を進めたいと報告があり、承認された。今後、定款変更し、名簿発行を廃止するか否かも検討することとなった。

6. その他

1) 日本スポーツ体育健康科学学術連合の運営委員について（鈴木理事長）

本学会が加盟している日本スポーツ体育健康科学学術連合の運営委員について、役員改選があったこともあり、下光理事と小野寺理事から鈴木理事長と須田理事に変更する事が提案され、承認された。

2) 竹宮隆名誉会員の追悼文について

（田中編集委員長）

先般逝去された竹宮隆名誉会員に哀悼の意を表し、全員で黙祷した。また、竹宮隆名誉会員の追悼文を西平副理事長が作成することとなった。

3) 投稿規定改定について（宮地利益相反委員長）

配布資料に基づき、投稿規定の改定案として「利益相反のない、ありにかかわらず、その状況を申告すること」「論文の末尾には利益相反のなし、ありに関しもれなく簡潔に記述」の2点が提案され、審議の結果、編集委員会と利益相反委員会の共同で投稿規定の利益相反に関する記述について、検討していくこととなった。

4) 会費収納方法について（武政総務委員長）

事務局業務委託先の学会支援機構から会費収納オプションについて説明を受けたと報告があり、会費収納方法として自動引き落とし、クレジットカード決済、コンビニ支払について費用やメリット・デメリットを記載した資料が配布された。会員サービスの向上を目的に、現状の会費収納方法の郵便振替とクレジットカード決済のオプションを加えることが承認された。

【報告事項】

1. 各種委員会報告

1) 編集委員会 (田中委員長, 後藤副委員長)

- ・投稿状況について, 2015年9月1日から11月17日現在まで「JPFMS」誌:新規投稿11編(内1編海外からの投稿),採択2編,審査中4編,不採択4編,受付不可1編,「体力科学」誌:新規投稿11編,採択0編,審査中9編,不採択2編と報告があった.受付不可の1編は規定のページ数を大幅に超えており,二重投稿ではないが,「JPFMS」掲載後の「体力科学」への二次出版であり,二次出版については投稿規定で定められていないため,まずは二次出版についての基準作りから始めることとしたと報告があった.
- ・掲載予定について,「JPFMS」誌Vol.4, No.5は11月25日発行で, Invited Reviews 2編, Short Reviews 2編, Regular Articles 2編, 「体力科学」Vol.64, No.6は12月1日発行で, 和歌山大会抄録集859編と報告があった.
- ・投稿規定改定について,「JPFMS」誌, Vol.5, No.6に岩手大会の英文抄録を掲載する事が決定しており, それに係わる点, JPFMS誌に投稿の際の添付証明書(倫理審査承認証明書, 英文校閲証明書)の廃止に係わる点, 引用文献へのDOI(Digital Object Identifier)の記載に係わる点を改定したと報告があった.
- ・JPFMSのインパクトファクターを上げるため, JPFMS誌が発行された際に会員にEmail配信を行い, 閲覧数を増やしたいと提案があり, 審議の結果, 承認された. まずはJPFMS誌発行の度に配信していくこととなった.

2) 学術委員会プロジェクト研究委員会(須田委員長)
今期のプロジェクト研究の募集締切を1月31日に

設定したと報告があった.

3) 渉外委員会(永富委員長)

- ・ECSSの公募事業について, 応募が1件も集まらなかったと報告があった. 今回は内藤理事が提案したテーマでECSSに応募したと報告があった.
- ・派遣助成制度について会員向けのアンケートをする予定であると報告があった.
- ・オランダの厚生スポーツ省に呼ばれ, オランダの使節団がオリンピックに向けてスポーツサイエンスを関するという目的で活動を進めていると報告があった.

4) 広報委員会(甲斐委員長)

役員名簿を更新したこと, 会員からの有益な情報があれば随時掲載をしていると報告があった.

2. 第70回(和歌山)大会報告(田島第70回大会長)

配布資料に基づき, 以下の事項について報告がなされた.

参加総人数: 2,512名

総演題数: 1,021演題

女性座長割合: 14.42% (30名/208名)

3. 第71回(岩手)大会の進捗状況(立身第71回大会長)

配布資料に基づき, 大会のプログラム等準備状況について報告がなされた.

会期: 2016年9月23日(金)~25日(日)

会場: アイーナ, マリオス

4. 第72回(愛媛)大会の進捗状況

(尾形第72回大会長代理)

大会の準備状況について報告がなされた.

会期: 2017年9月16日(土)~18日(月)

会場: 愛媛大学, 松山大学

第27回日本体力医学会スポーツ医学研修会のご案内

本研修会は、基礎コースと応用コースに分かれ、それぞれ2日間、講義と実習を行います。今回から基礎コースのプログラムに「運動による認知症の予防・改善」を加えました。実習は救急救命法、健康者や生活習慣病罹患者に対する運動処方、障害予防・機能回復の筋力トレーニングおよびテーピングなどです。アスリートを対象とした研修内容ではありませんのでご注意ください。

全てのコースを受講して修了試験に合格し、所定の手続きをとると「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」の称号を受けることができます。称号取得を希望される方は、日本体力医学会に入会し、会員になっていただく必要があります。

この研修会には日本体力医学会非会員の方も参加できます。また、他の研修会を受講し、資格や称号を取得された方で、それらの更新に必要な認定単位取得のために本研修会を受講されても結構です。受講証明書を発行いたします。

尚、実習を行う関係上、各年度の参加人数に制限がありますことをご了解ください。多数の方のご参加をお待ちしております。

平成27年11月21日

日本体力医学会学術委員会・スポーツ医学研修会実行委員会

山内 秀樹 太田 真 木村 真規 進藤 大典 成田 和穂 湊 久美子 山口 眞紀

1. 会 場

東京慈恵会医科大学西新橋校各会議室・大学1号館6F機能系実習室など

2. 日時および研修内容

(I) 基礎コース

運動生理学やスポーツ医学等の基礎的事項を前提に、さらに進んだ生理学（神経・筋、呼吸、循環、代謝など）や生化学、栄養学および運動処方の基礎などを中心に学びます。

平成28年7月1日(金)

9：00～10：30	運動と神経・筋
10：40～12：10	運動と呼吸
12：10～13：10	昼休み
13：10～14：40	運動と代謝
14：50～16：20	運動と栄養
16：30～18：00	運動と循環

平成28年7月2日(土)

9：00～10：30	運動処方の基礎
10：40～12：10	生活習慣病の運動処方
12：10～13：10	昼休み
13：10～14：40	高血圧および心血管疾患の運動
14：50～16：20	運動器疾患の運動処方
16：30～18：00	運動による認知症の予防・改善
18：15～	懇親会（会費3000円、参加自由）

(II) 応用コース

基本的な運動指導の実際について学びます。実習では自転車エルゴメータによる運動負荷試験をもとに運動処方を作成します。また、呼吸機能検査、体組成測定法、テーピングや筋力トレーニング実習も行います。

平成28年8月5日(金)

- 9:00～12:10 運動処方実習（自転車エルゴメータを用いた運動負荷試験，心電図記録，呼吸機能検査，
体組成測定実習）
- 12:10～13:10 昼休み
- 13:10～17:00 救急救命実習（人体模型を用いた実習）

平成28年8月6日(土)

- 9:00～12:10 運動処方の作成（前日の運動負荷試験で得られたデータを基に各被検者の運動処方を作成し，
実施させる）
- 12:10～13:10 昼休み
- 13:10～17:00 スポーツ障害に対するテーピングおよび筋力トレーニング実習

平成28年8月7日(日)

- 10:00～12:00 修了試験

注意：講師の都合で講義時間割りが前後することがありますので，ご了承下さい。

3. 修了試験と称号について

基礎コースおよび応用コースの両コースを受講した方は，所定の修了試験を受験することができます。修了試験の合格者には合格証を発行いたします。また，修了試験合格後，所定の手続きを経て，日本体力医学会健康科学アドバイザー®の称号を取得することができます。

修了試験は平成28年8月7日(日) 10:00～12:00に東京慈恵会医科大学で行います。

※「日本体力医学会健康科学アドバイザー認定試験過去問集（最近8カ年400題）正解/解説付」（税込：2,000円）がありますので，ご利用下さい。

下記の“9. 申込書送付先および問い合わせ先”へお申込み下さい。

4. テキスト

担当講師が用意した講義資料を簡略なテキスト化し，それに準じて講義が行われます。また，プレゼンテーション資料も当日配布致します。

5. 受講料

受講料は（Ⅰ）基礎コース，（Ⅱ）応用コースおよび修了試験の全てを受講する場合は50,000円，単科コース（基礎コース，応用コースの各コースを単独受講）を受講する場合はそれぞれ25,000円（2日間コース）です。2コースの受講を原則としますが，定員に余裕があれば，単科コースの受講も可能です。その年度に受講しなかったコースを次年度以降に受講すれば，全コース受講後修了試験を受験することができます。尚，学生受講者は30,000円（基礎・応用コース）と致します。ただし，学生証の呈示が必要です。

6. 受講資格と定員

スポーツ医学研修会受講資格は特に定めませんが，2コース受講後に行われる修了試験に合格し，「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」の称号取得申請を希望する方は日本体力医学会会員でなければなりません。但し，自己研鑽のために本研修会を受講される方や他団体の資格や称号の登録更新のための認定単位取得が目的の場合は日本体力医学会会員になる必要はありません。

定員は各コース40名です。

7. その他

健康運動指導士，同実践指導者の登録更新に必要な履修単位90分1単位（講義題目8科目認定）およびTHPではそれぞれ基礎コース5単位，応用コース5単位が認定されます。

8. 申し込み方法

本研修会受講希望者は、葉書またはFAXで、日本体力医学会スポーツ医学研修会を受講したい旨を下記までご連絡下さい。仮申込受付後、申込書類をお送りいたしますので、要領に従いお申込下さい。なお、申込に際し、受講料をご案内の口座に2週間以内にお振込みください。お振込みをもって正式な申し込みとさせていただきます。定員に達し次第、締め切らせていただきますのでご了承下さい。受講票、受講料などの連絡は、受講通知とともに後日ご案内させていただきます。

なお、申し込みが20名に満たない場合には中止させていただきますのでご了承ください。その時には受講料を払い戻しますが、本人都合による返金には応じられませんので、あらかじめご了承下さい。

9. 申込書送付先および問い合わせ先

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13ユニゾ小石川アーバンビル4F

一般社団法人 学会支援機構内

日本体力医学会スポーツ医学研修会 係

電話：03-5981-6015 FAX：03-5981-6012

E-mail：jspfsm@asas.or.jp

第27回日本体力医学会スポーツ医学研修会仮申込書

下記の通り、研修会の受講を申込ます。(該当する□にレ印をつけてください。)

第27回 基礎コース

第27回 応用コース

試 験

氏 名 _____

連絡先 〒 _____

TEL： _____ E-Mail： _____

第37回バイオメカニズム学術講演会 (SOBIM2016 in TOYAMA)

～人工の手から50年・バイオメカニズムの温故知新～

－ 開催案内 －

主催：バイオメカニズム学会
会期：2016年11月12日(土) 13日(日)
会場：公立大学法人富山県立大学
〒939-0398 富山県射水市黒河5180

●講演会内容 (予定)

- ・一般講演
- ・「人工の手」に関する特別企画
- ・学会誌連動企画
- ・機器展示

●一般演題発表募集

講演申込締切 2016年7月1日(金)
原稿投稿締切 2016年10月5日(水)

●事前参加登録締切 2016年10月14日(金)

●会場までの交通機関

(最寄駅：あいの風とやま鉄道・小杉駅)
・東京駅より：JR北陸新幹線 富山駅下車
・大阪駅より：JR北陸本線(特急)金沢駅→JR北陸新幹線 富山駅下車
富山駅→小杉駅(10分) あいの風とやま鉄道
あいの風とやま鉄道小杉駅南口から徒歩約20分(約2km), または射水市コミュニティバス「14.小杉駅・太閤山線」に乗車約6分
<http://www.pu-toyama.ac.jp/outline/access/2013/03/19/1052/>

●第37回バイオメカニズム学術講演会事務局

〒939-0398 富山県射水市黒河5180
富山県立大学工学部 小柳健一
TEL/FAX：0766-56-7500/0766・56-8030
事務局E-mail：sobim2016@ml.pu-toyama.ac.jp
学術講演会HP：http://www3.u-toyama.ac.jp/sobim/

●協賛団体 (予定)

計測自動制御学会, システム制御情報学会, 情報処理学会, 人工知能学会, 人体科学学会, 精密工学会, 電気学会, 電子情報通信学会, 日本運動生理学会, 日本看護科学学会, 日本看護技術学会, 日本看護研究学会, 日本機械学会, 日本義肢装具学会, 日本義肢装具士協会, 日本建築学会, 日本作業療法士協会, 日本シミュレーション学会, 日本写真測量学会, 日本人工臓器学会, 日本人類学会, 日本生活支援工学会, 日本整形外科学会, 日本生体医工学会, 日本生理学会, 日本体育学会, 日本体力医学会, 日本人間工学会, 日本バイオマテリアル学会, 日本バイオメカニクス学会, 日本福祉のまちづくり学会, 日本補綴歯科学会, 日本理学療法士協会, 日本リハビリテーション医学会, 日本リハビリテーション看護学会, 日本リハビリテーション工学協会, 日本臨床スポーツ医学会, 日本臨床神経生理学会, 日本臨床バイオメカニクス学会, 日本ロボット学会, 日本ロボット工業会, ヒューマンインタフェース学会, ライフサポート学会, 臨床歩行分析研究会, IEEE EMBS Japan Chapter, IEEE EMBS West Japan Chapter

編 集 後 記

今年の夏にはリオデジャネイロでオリンピック・パラリンピックが開催されます。そして、その次の2020年はいよいよ東京開催です。私は1957年生まれなので、前回の東京開催の1964年当時は小学校1年生でした。オリンピックの試合はテレビ観戦でしたが、閉会式の日に国立競技場の外側に行き、各国の選手たちを間近に見て、聖火台の聖火が消えるのを見た記憶があります。オリンピック・パラリンピックの東京開催を2回経験できる人間は限られた年代しかいませんので、私自身たいへん幸運なときに生まれたと思っています。オリンピック・パラリンピックに代表されるようにスポーツは多くの人に感動や記憶を残し、人生に活力を与えてくれます。スポーツには様々な魅力や価値があることは万人の認めるどころです。

昨年（2015年）、日本人に最も感動を与えたスポーツ界の出来事は、イングランドで開催されたラグビーワールドカップにおいて日本代表が対南アフリカをはじめ3勝をあげて大活躍したことでしょう。次回のラグビーワールドカップは2019年に日本で開催されますので、2019年、2020年と続けて巨大なスポーツイベントが日本で予定されています。スポーツに関わる者として、こういった機会をしっかりと生かしてスポーツの価値を高めていきたいと思っています。

しかし、昨年はスポーツの魅力や価値を損ないかねない話題や事件がありました。2020年の東京オリンピック・パラリンピック関連では、新国立競技場計画の白紙撤回とエンブレム選定し直しの話題です。人生や社会においてスポーツの価値を最大に生かすという視点で、後の時代に「2020年東京オリンピック・パラリンピックは成功だった」と言われるような大会になってほしいと思います。また昨年は、ロシアや国際陸連が関係したとされる組織的ドーピング事件も報道されました。ドーピングを取り締まる側がドーピングをする側とぐるになってドーピングを隠蔽したというショッキングな事件です。現在のアンチ・ドーピングの仕組みの信頼性が大きく損なわれました。スポーツに関わる者はスポーツの価値を守るために、しっかりとアンチ・ドーピングに取り組んで信頼回復に努める以外に方法はないと思います。

本号では、運動生化学、運動生理学、スポーツ障害、運動指導などの幅広い関連分野の基礎から応用までの研究論文が掲載されています。スポーツに関わる者にとっては、今が2020年に向けてスポーツの価値や魅力を高めていく好機であることを再確認し、本学会会員の皆様の研究が一層進展することを祈念しています。

赤間 高雄

The Japanese Journal of Physical Fitness and Sports Medicine Vol.65, No.2

体 力 科 学 第 65 卷 第 2 号

平成 28 年 3 月 25 日 印 刷
平成 28 年 4 月 1 日 発 行

編集兼発行者
発 行 所

田 中 喜 代 次
一般社団法人日本体力医学会
〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13
ユニゾ小石川アーバンビル4階 学会支援機構内
TEL：03-5981-6015 FAX：03-5981-6012
E-mail：jpsfsm@asas.or.jp

編 集 事 務 局

〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合 1-1
鶴岡印刷株式会社内
TEL：0235-22-3120 FAX：0235-22-3120
E-mail：hj-tairyoku@turuin.co.jp

印 刷 所

〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合 1-1
鶴岡印刷株式会社
